



鷹山宇一記念美術館友の会会報

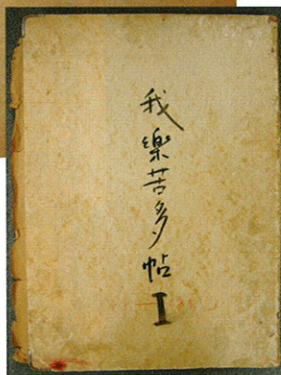
TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

平成 23 年 6 月 15 日発行 鷹山宇一記念美術館友の会 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



■新たに当館コレクションに加わった
鷹山宇一「静物」④
(キャンバス・油彩、1952年、二科春季展出品)と
「我楽苦多帖」表紙④、「静物」掲載ページ④

「我楽苦多」…あえて「苦」を入れてあるところ、鷹山先生らしい当て字です。ひとりの人間の深遠な人生が散りばめられたこのスクラップ帖にピッタリですね



鷹山宇一の「静物」

皆さんのお手元にこの会報をお届け出来た頃、笠間日動美術館のコレクションによる特別展「パレットと絵画展」も、すでに会期を終了していることでしょう。この展覧会に出品されていた鷹山宇一の作品の中に、当館では初公開となった作品がありました。再現された「アトリ正」の左側に展示されていた2点の油彩画をこの記憶の方もいらつしやることと思います。それから今回、新たに鷹山美術館のコレクションに加わることとなりました。「パレットと絵画展」が取り持つご縁と言えましょう。

今回ご紹介する「静物」はその一点。タテの長さが91センチという、鷹山宇一の作品の中でも比較的大きな30号の油彩画です。

開館3周年記念に刊行した「鷹山宇一画集」にモノクロ図版で掲載されている作品は、当初館内の資料などから、1955年に制作されたものと考えられておりました(画集内のモノクロ図版は所蔵先不明の作品を鷹山所有の展覧会ハガキ等から転載したものでした)。が、このたび購入作品として検討され、その決定がなされるまでの時間の中で、実は、1952年の「二科春季展」出品作であったことが分かりました。「パレットと絵画展」で展示され、ホンモノの作品を目の当たりにしてからはなおのこと、モノクロ図版ではわからない1955年作と1952年作との違いを確信させられたものです。作品全体の雰囲気、モチーフ、そして、絵の具を拭き取って表現する手法…それは当館所蔵の「静物(卓上)」に近い雰囲気を漂わせています。ちなみにこちらは1952年の秋の本展「第37回二科展」出品作。「静物」と一口に言っても、1952年を中心にして以降の50年代、鷹山の作品には「静物」と題された油彩画がごとのほが多く、文字情報だけではどの作品がいつ制作された「静物」か? 図版が残っていないれば特定することはできません。しかし偶然に、いえ、きつと必然だったでしょう、1952年の作品であることを示す資料を発見したのでした。

それは、鷹山自らの手によるスクラップ帖「我楽苦多帖」。自身の作品が紹介された新聞や雑誌記事の切り抜き、展覧会ハガキや写真などを貼り付けたものが、アトリ正に大切に保管されていました。二科展初入選の1930年から1960年頃までの記録が計9冊に渡って遺されています。1952年二科春季展出品作として雑誌記事に図版入りで掲載されているその切り抜きが、我楽苦多帖に確かに残されていたのです。さらに、昭和27年3月3日の『美術新聞』の記事として「鷹山宇一の『静物』は幻想的な世界を表現して成功し…」との「二科春季展評」もスクラップされています。

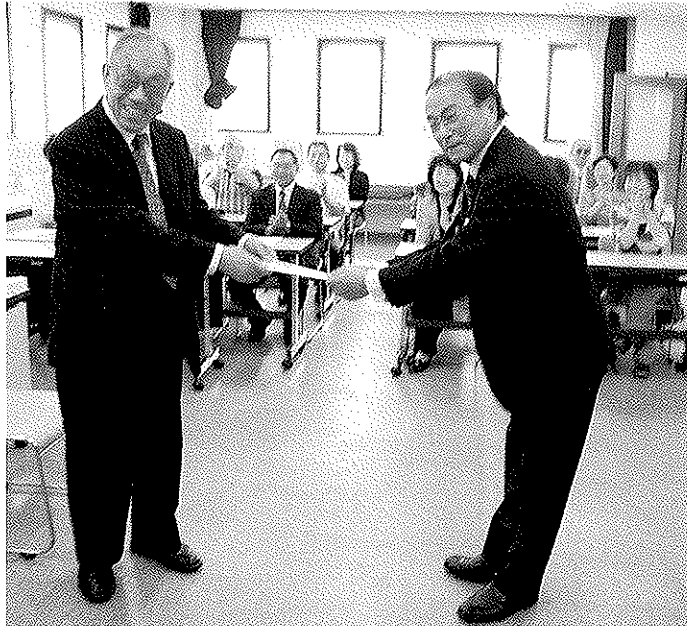
春季展出品作品であるという事は、それは春季展のために新たに描かれた作品ということと言えます。二科会の春季展とは、会員を対象に「造形上の実験的創造に」との目的の下開催され、秋の本展に次ぐ二科会の大イベントとして現在まで脈々と続けられているものです。他に出品した作品や過去に制作した作品を出品することはありません。

7月3日からの夏の常設展で、開館当初からの当館収蔵作品「静物」と、新たに仲間入りをした同じ1952年制作の「静物」とを並べて展示しようかな、と考えています。是非ご高覧ください。

(学芸員 大池亜希子)

友の会平成23年度通常総会開催

鷹山宇一絵画作品購入資金を贈呈



戸館館長に目録を贈呈する盛田会長

鷹山宇一記念美術館友の会平成23年度通常総会が平成23年6月11日午後2時から開催。平成22年度事業報告書・収支決算書及び平成23年度事業計画・収支予算の承認議案などすべての議案が原案どおり可決され、本年度の事業体制が整いました。本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

総会終了後、盛田会長より鷹山宇一記念美術館戸館昭吉館長に鷹山宇一絵画作品購入資金の一部として百万円の目録を贈呈致しました。

なお、総会資料を別添のとおり同封致します。

春のコレクション展

コレクションの力、青森力

七戸町 照井 壽一

春のコレクション展を見たいと思い、6月9日に青森県立美術館を訪問しました。

訪問したいと思った理由は二つありました。一つは「県立美術館の所蔵作品を常設・企画の全展示室を使って公開します」というホームページに掲載されていた春のコレクション展についての一文を読み、全展示室の作品をゆっくりと鑑賞しながら回り、行くたびに迷ってしまう美術館内を少しでも知りたいと思ったこと。二つ目は青森出身の主要な作家の作品を見たいと思ったからです。



青森県立美術館

結果からいいますと、春のコレクション展会場からアレコホールへ出て他の展示室をあちこち歩いていくうちに結局迷ってしま



鷹山宇一記念美術館

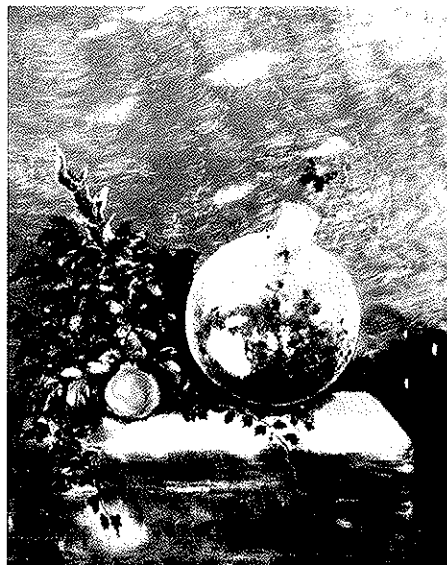
い、やっとなとエレベーターに乗って出た場所は昼食をとったレストラン「4匹の猫」の室内だったので驚きました。次回からは、迷うことを楽しみたいと思っています。

訪問して嬉しかったことは、展示室E「青森県の近代洋画 く松木満史を中心に」で鷹山宇一画伯の作品「ふるさと」（1949年・油彩）と「静物A」（1954年・油彩）を鑑賞できたこと、二つ目は「遊蝶花 画家・鷹山宇一」と題した隔月刊「あおもり草子」の特集号（2008年4月1日発行）を購入出来たことです。

購入した「あおもり草子」の特集記事を読みながら、少し先のことになりますが、鷹山宇一記念美術館は勿論サポートする友の会も、平成26年には20周年という節目を迎えることは素晴らしいことだと思えました。県立美術館で開催するであろう5年後の春の常設展ものんびり、ゆっくり鑑賞したいと思っています。



▲「遊蝶・花」(キャンパス・油彩、1960年代)



▲「静物」(キャンパス・油彩、1952年、二科春季展出品)

鷹山宇一の油彩画2点が新たに当美術館コレクションに加わりました！

去る5月28日に行われた平成23年財鷹山宇一記念美術振興会第3回理事会、第2回評議員会において、鷹山宇一作品2点の購入が可決承認されました。さらに6月11日の友の会総会では、作品購入のための百万円が当財団へ寄付されることが承認されました。友の会会員の皆様の会費収入から積み立てられた貴重な寄付金を充当し、このたびの絵画購入をさせていただきます。心から御礼申し上げます。

鷹山宇一先生の作品が新たに2点、館収蔵となつて皆様の鑑賞に供することとなりました。今回、日動画廊長谷川社長ご夫妻のご好意によりまして、当館に譲渡していただくこととなりました。「静物」と「遊蝶・花」いずれも30号の作品です。

今年の1月24日、銀座の日動画廊に「パレットと絵画展」開催にあたりご挨拶にお伺いし、長谷川徳七社長、智恵子副社長のお二方にお目に掛かることとなりました。その際、当社に偶然の機会にこの2点が持ち込まれることとなったので、鷹山先生の美術館に収まるのが一番良いのでは、とのご提案がございました。私は、かねてから一点でも多くこの美術館に鷹山作品がほしいと考えておりましたので、是非入手したいと、早速皆様にご相談をいたしました。

財団役員の皆様はもちろん、特に友の会盛田駿造会長をはじめ役員の皆様からも積極的なご賛同をいただきました。幸い5月28日の当財団理事会及び評議員会において満場一致で可決となり、また、6月11日に開催された友の会総会においても、作品購入のための百万円を当財団へご寄付いただける旨、ご承認をいただくことができました。心から感謝申し上げます。

日動画廊様には重ねて多大なるご配慮を賜り、画面を保護するアクリル板をご用意くださるとのこと、大変有り難いお話しを頂戴いたしました。厚く御礼申し上げます。

私は、元来鷹山先生は寡作な作家と思っておりますが、故になかなか作品は出て参りません。今後可能な限りチャンスあらば作品の収集拡充に意を盡し、美術館の充実を図ることに努力したいものと存じております。今後とも多くの人々から情報を寄せてくださるようお願いするとともに、財政力の一層の向上を図りたいものと願っております。

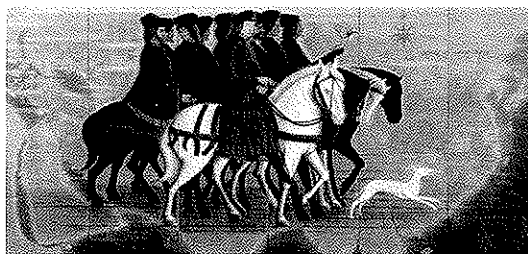
七戸町立鷹山宇一記念美術館
館長 戸館昭吉

当館秋の特別展

「平山郁夫」展

9月23日(金)～10月30日(日)迄

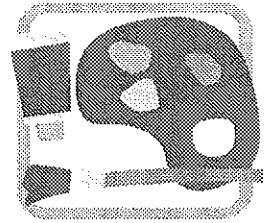
会期中無休



2009年12月2日、惜しまれつつこの世を去った日本画家・平山郁夫先生を偲び、60余年に及ぶ画業を悼んで「平山郁夫展」を開催します。

画家が生まれ多感な時代の感性を育んだ画業の原点・生口島。その瀬戸内海の豊かな風土を描いた作品から、「平和」を希求する画家の心が求めた「仏教伝来」の道、日本文化の源流を探るシルクロードまで画家が絵に託し未来へ伝えようとした想いを検証し、平山芸術の神髄に迫ろうというものです。詳しくは次号でご紹介！皆様のスケジュールには是非ご予定いただきたい特別展です。

*掲載の作品は特別出品予定の昭和51年院展出品作「マルコポーロ東方見聞行」



空間日動美術館コレクション

パレットと絵画展 から..... Report

青森放送株式会社様のご共催を頂き、5月3日から「パレットと絵画展」を開催して参りました。なかなか拝見する機会のない画家の仕事道具「パレット」。それぞれの画家たちの個性が顕著に示されたパレットの展示は、画家の素顔にプライベートを覗くような好奇心と親しみをもって、多くの美術ファンを魅了しました。作品だけを展示するこれまではひと味違った展示が大変ご好評をいただきました。ここでは会期中の出来事をピックアップしてご紹介します!!

◀5/1(日) 出品作家お一人、渡邊榮一先生が自らの作品を展示!



④展示作業を終え当館スタッフと記念撮影! 渡邊先生は中央です

⑤先生自らの手で作品のセレクトから配置決定まで! 会場の雰囲気と先生のその時の気持ちによって作品は変化します!!

▶5/3(火・祝) 「パレットと絵画展」初日、さやかながら開催式を行いました



当財団富士孝術理事長⑥の挨拶にはじまった開催式では、七戸町長・小又勉様⑦、七戸町議会議長・白石洋様⑧よりご祝辞を頂戴し、開幕を祝いました。

▶6/14(火) 「パレットと絵画展」入館者5,000人に



記念すべき五千人数は、岩手県宮古市の三浦久美子さん、八戸市のご友人に気分転換をしよう!と誘われて一緒にご来館くださいました。当館の展示会が心の平安に、少しでもお役にたてたなら、とてもうれしい限りです。

▶榎中の生徒の皆さん、1年生から3年生まで、鑑賞姿勢が素晴らしいです!



日動画廊代表取締役社長・長谷川徳七様、副社長・智恵子様ご夫妻による講演会では、さすがは日本を代表する歴史ある画廊ならではの!長年にわたり培われた深い絆を覗かせる画家たちとのエピソード、その素顔や絵の見方に至るまで、大変興味深いお話しをお伺いいたしました。友の会会員をはじめとする約70名の聴講者を魅了しました。

◀5/14(土) 日動画廊社長ご夫妻による講演会「パレットと日動画廊」を開催しました

●「パレットと絵画展」雑感●

鷹山宇一記念美術館のスタッフとして、とてもうれしい感動があったこのたびの「パレットと絵画展」。当館で初めてご紹介することの出来た鴨居玲作品や、渡邊榮一先生をはじめ現代アーティストの先生方の作品に触れ合う機会に恵まれたこと。そして、特別展とは言え鷹山宇一を中心にゆかりの画家たちの「パレット」を併せてご紹介出来たことで、鷹山美術館ならではの特別展となったように感じられました。特に、地元榎林中学校の皆さん、八戸工業大学第二高等学校美術コースの皆さんが授業の一環として来館され、鷹山作品初対面の生徒たちも多く見受けられたのですが、「宇一先生」と、その作品の美しさに敬愛と、自分たちの身近な地元作家としての誇りをもって、その名をつぶやいていた子どもたちの姿を目の当たりにした時は、鷹山美術館スタッフ冥利に尽きました。鷹山宇一の「美」に対する精神性が彼らに届いた瞬間を自撃したように思います。子どもたちの輝かしい明日のため、「美術館が出来ること」を肅々と、誠意をもって務めていかなければ、襟を正す思いの「パレットと絵画展」なのでした。

美術館 ●●●●●
 ワークショップ ●●●●●
 ものづくり教室 かも ●●●●●
 美術館あ〜っと!くらぶ
 「アートでおもてなし」
 ものづくり体験講座

今年度も小中学生から一般の方を対象とした造形体験教室を開催します。

■「美術館あ〜っと!くらぶ」

この教室は、平成14年度より開催している造形体験教室です。子どもたちの「生きる力」を育むとともに、幅広い世代に広く美術に親しんでいただくこと、児童生徒から大人までを対象とした、地域に根ざした美術館ならではの様々な講座を用意しています。

青森県独特の文化である『木版画』体験を取り入れながら、そのほか単発で様々なものづくりに挑戦します。多様な技法に触れながら自分の表現方法を探し出し、つくりたいものを創造する喜びを味わい、そして分かち合える、そんな教室を目標に努めて参ります。

また、今年度は秋の『平山郁夫展』にあわせて、日本画の制作体験教室を新たに企画いたしました。初心者向けの内容となっておりますので、日本画の制作手順や画材に興味のある方は是非ご参加ください。

▼活動予定：トールペイント／なんちゃってステンドグラスづくり／スイーツデコ(全2回)／日本画を描いてみよう(全5回)／ローラー転がし／年賀状版画(全2回)／ペーパークイリング／七宝焼づくり／かんたん製本

▼対象年齢：小学校3年生〜一般

▼定員：各活動約15名様まで

▼費用：各活動により異なります

500円〜1,000円程度を予定

▼日時：年間スケジュール表(予定)の用意がございます。ご興味がおありの方、美術館まで一報いただけましたら幸いです!!

■「アートでおもてなし」

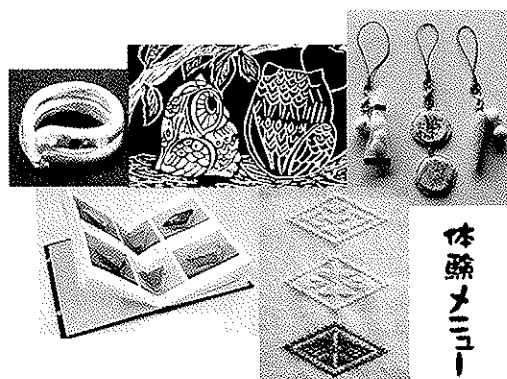
ものづくり体験講座

こちらは、ご予約をいただければ随時体験可能なものづくり教室。旅行中の方々の旅の記念に、また当館ご来館記念に、そして、大切な誰かのためのプレゼントづくりに：幅広くご利用ください。下記の5つの体験メニューを用意してお待ちしています！

5月の連休・週末には、たくさんのお申し込みを頂きました。子どもが興味を持った：友人の誕生日プレゼントに：家族そろっての体験に：と、お客様によりその目的はいろいろ。皆さん時間を忘れて制作に没頭していらっしゃいました。



- ①ご当地ストラップ制作体験
- ②南部菱刺し体験
- ③木版画制作体験
- ④シルバークセサリー制作体験
- ⑤手作りプチアルバム制作体験



体験メニュー

▼費用：各メニューお一人様 2,000円(入館料込)

▼定員：一日ひと組5名様まで

*小学校3年生未満のお子様は保護者の同伴が必要です

▼時間：当館休館日以外の

- ①10時〜13時
- ②14時〜17時の

いずれか

▼体験希望日の3日前までにお申し込みください。

※ただし当館事業等により、お客様のご希望にお応えできない場合がございます。ご了承くださいます。

みんなアーティスト!あつまれ★なんぶっ子

第10回 鷹山賞児童作品展

作品募集!!

青森県南部地方の小中学生に作品を公募する「鷹山賞児童作品展」は、郷土の画家・鷹山宇一を顕彰するとともに、子どもたちに制作体験を通して豊かな感性を養い、自由な創造の喜びを味わってもらえたら：と願い、開催する絵画コンテスト!

テーマは自由。四つ切り大画用紙以内の大きさを、平成23年度制作の平面作品を募集します。締め切りは、9月15日(木)。

二科会絵画部会員の濱田進先生を審査員長に、10月上旬審査会を行い、鷹山賞を頂点とする入賞者(概ね30名)には、当館における授賞式にて、賞状と副賞を授与いたします。(このほか入選者(概ね100名)には賞状を贈ります。

入賞・入選作品は、2011年11月20日〜2012年1月22日まで鷹山宇一記念美術館に展示!県内外の多くの方々に紹介します!

詳しくは、美術館までお問い合わせください。「なんぶっ子」の皆さんの応募をお待ちしております。

● 美術館日誌 ●

【3月】

- ▼4日/大池、織川、十和田市出張(ア
ート・ツアー)「鳥谷幡山を知る、冬の
十和田湖」打合せ、休屋
- ▼5日/アート・ツアー「上泉賢画と
八戸市博物館」開催(引率:大池、織
川)。友の会オランダ旅行説明会
- ▼10日/当財団収蔵資料監査会
- ▼11日/東日本大震災発生。12日ま
で停電。館内整備、点検等のため無期
限臨時休館
- ▼13日/しちのへ春まつり及び青森
DC連絡会議へ佐伯出席(南公民館)
- ▼15日/館内展示・収蔵作品保守作業
- ▼18日/戸館館長、県立七戸養護学
校卒業式に出席
- ▼23日/当財団新任理事への概況説明
会を実施
- ▼29日/絵画室作品展示復旧作業
- ▼30日/当財団H23年度第2回理事
会、第1回評議員会開催
- ▼31日/ランプ館展示復旧作業

【4月】

- ▼1日/東日本大震災以降の臨時休
館解除、開館。青森放送十和田支局
長・竹内様「来館」、「パレットと絵画
展」CM打合せ
- ▼2日/ワラジムシ駆除打合せ(石
川設計)
- ▼7日/戸館館長城南小、七中入学
式に出席
- ▼11日/しちのへ春まつり及び青森

【5月】

- ▼DC第2回連絡会議へ大池出席(七戸
庁舎)。セコム機器点検、交換作業
- ▼12日/秋田県立近代美術館特別展
「アートで虫むしとびきりコラボ大
作戦!」へ鷹山油彩画2点貸出、立会
▼14日/美術館電気設備定期点検(佐
藤電気)
- ▼16日/「パレットと絵画展」ポス
ター等印刷物納入(ダイサン)、発送
作業
- ▼26日/絵馬館・スペイン民芸資料
館臨時休館、ワラジムシ駆除作業(石
川設計、サニタ、クドウ住建)
- ▼28日/南部藩児童交流事業実行委員
会に佐伯出席(七戸庁舎)
- ▼29日/八戸市史編纂室、見町観音堂
小田子不動産資料調査のため「来館
- ▼30日/展示替え作業のため臨時休館
(5/5/2迄)。友の会監査会開催。
日動画廊富士根様、洋画家渡邊榮一
先生「パレットと絵画展」展示作業の
ため「来館

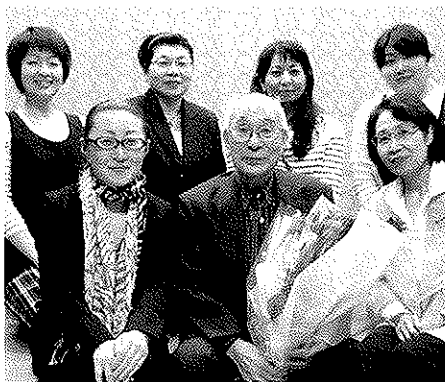
【6月】

- ▼1日/「パレットと絵画展」作品搬
入、展示作業(日本美術商事)
- ▼2日/青森放送「パレットと絵画展」
展示作業を取材
- ▼3日/「パレットと絵画展」初日。
開催式を開催。おもてなしワークショ
ップ「ご当地ストラップづくり」5名
様を受付、実施
- ▼4日/おもてなしワークショップ
「シルバークセサリーづくり」2名
様を受付、実施
- ▼5日/おもてなしワークショップ
「ご当地ストラップづくり」1名様

【7月】

- ▼「シルバークセサリーづくり」1名
様を受付、実施
- ▼7日/おもてなしワークショップ
「シルバークセサリーづくり」4名
様を受付、実施
- ▼8日/おもてなしワークショップ
「シルバークセサリーづくり」2名
様を受付、実施
- ▼11日/青森県立郷土館本田様ほか2
名様、絵馬借用打合せのため「来館
- ▼12日/美術館電気設備定期点検(佐
藤電気)
- ▼14日/友の会オランダ旅行説明会。
日動画廊代表取締役社長・長谷川徳七
様、副社長・智恵子様「ご夫妻」来館、
講演会「パレットと日動画廊」開催(約
60名様聴講)
- ▼15日/「しちのへまつり」観光
ツアー「49名様」来館
- ▼20日/東北電力配電設備改修工事の
ため0時〜4時30分迄停電。おもて
なしワークショップ「ご当地ストラッ
プづくり」2名様を受付、実施
- ▼21日/友の会役員会(杉屋敷)
- ▼22日/おもてなしワークショップ
「ご当地ストラップづくり」3名様受
付、実施
- ▼23日/七高校外学習生徒8名様引率
2名様「来館
- ▼24日/当財団H22年度監査会。南部
藩児童交流事業遠野市担当者様「来
館、打合せ。大池青森市出張(鷹山宇
一資料調査)
- ▼25日/友の会総会案内発送作業
- ▼26日/戸館館長秋田県横手市出張
(全国美術館会議総会出席、27日迄)

青山浄晃先生ご勇退



▼28日/当財団第3回理事会、第2回
評議員会開催。青山浄晃前理事長退任
慰労会を開催。「鈴木正治とわの会」
16名様「来館

▼29日/七彩会油絵教室

▼30日/つがる市連合婦人会36名様
「来館

鷹山宇一記念美術館開設にあたり草
創期から尽力され、平成9年より当財団
理事長として14年、長年にわたりこの美
術館の大黒柱として支えてくださいまし
た。お疲れ様でした。そして、いつもつも
温かいお心で私たちスタッフを見守り、ご
指導くださいました。先生の温顔にどれ
だけ励まされたことか。美術に留まら
ず、人としていかにあるべきか?自然体の
生き方、品格。沢山のことを学ばせてい
ただきました。有り難うございました。今
後も健康に留意されいづまでもお元氣
で!青山流の素敵な人生の歩き方を、私た
ちはこれからも勉強させていただきます。ス
タッフ一同心からの感謝の気持ちを込めて♥

友の会会員登録の更新と

新規会員登録をお誘い願います

平成22年度も会員の皆様には友の会運営に多大な
お力添えをいただき誠に有り難う御座います。
新年度も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に
喜んでいただけるよう研修旅行、講演会などを企画し、微
力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。
なお、更新手続きは美術館窓口で随時行っております
ので、よろしくお願い致します。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館視察旅行(年2〜3回)
- ②海外美術館研修旅行(第5回海外研修旅行
2011年4月 オランダ・ベルギー美術紀行)
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

会費 (個人) 年度会費 3千円
特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により
入館料2割引き

- ②ミニシアタームックズ1割引
- ③研修会 講演会への招待、優待
- ④他美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤会報の配布

○特別会員

会費 (個人・法人) 年度会費 1万円
特典 一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員
とも本人及び同伴者1名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

会費 (個人・法人) 年度会費 2万円
特典 一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも
本人及び同伴者3名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは美術館までお問い合わせ下さい。

『福田繁雄デザイン館』を訪ねて

七戸町 照井壽一

五月初旬に放送された日曜美術館の「平面と
立体の境を飛び越えて」福田繁雄「見るこ
と」への情熱」という番組に触発されて、国
道4号を利用して岩手県二戸市シビックセンタ
ー内にある「福田繁雄デザイン館」を訪問し、
開催中だった第30回企画展「福田繁雄」ポ
スターの愛デアル」を鑑賞し楽しんでしま
した。



福田繁雄デザイン館は、日
本で唯一の常設展示館でシビ
ックセンターの二階にありま
したが二階窓から多目的広場
に建てられた10本の柱をみる
とテレビ放映された二戸市の
偉人・田中館愛橋博士のポー
トレイトがあらわれ、思わず
一緒にきた家族を声を出して
呼んでしまいました。企画展
を楽しんだあと、福田繁雄見
て歩きマップを頼りに市民文
化会館大ホールにあるピアニストとヴァイオリニ
ストをひとつの立体にした
「アンコール」を鑑賞、さら
らに二戸駅新幹線駅に行
き、視点を90度移動させる
と像が逆さになってしまふ
二宮金次郎像を探しました
が見つけることはできません
のを見ることができました
り、視点を交えて物事をみ
ることによって生活の中に
豊かさを見いだすことも出来るように思いました。
感慨に浸りながら帰宅の途につきました。



洗心美術館 特別展

佐藤 静司 彫刻展
～ 東北人の魂を刻んで～

95歳を超えた現在でも日展を中心に活躍中の木彫家・佐藤静司の作品を紹介し、戦前は三木宗策に、戦後は
澤田政廣に師事することで得た、伝統的な木彫技術に裏打ちされた作品をお楽しみください。

- 期 間 2011年6月29日(水)～9月25日(日)
- 時 間 10:00～16:30分(最終受付16:00)
- 住 所 青森県八戸市長苗代字上碓田56-2
- 休館日 月曜日(祝日の場合翌日に振替)
- TEL 0178-27-6570

(洗心美術館特別展パンフレットから転載)

★会費納入
について
お知らせ

会費の納入は、
随時受け付けて
おりますが、10
月1日以降に新
規会員となった
方は、翌々年の
3月31日までの
会費となります。

★ご意見ご要望
お待ちしております

皆様の会報です。
友の会事業全
般、研修旅行に
関するご意見、
ご要望、お便り、
旅行記等をお寄
せ下さるようお
願い申し上げます。

編集後記

会報第63
号をお届けし
ます。新年度
においても会
員各位のご協
力とご指導を
よろしくお願
い申し上げます。
(照井)

再募集！第5回友の会海外研修旅行

「ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて」

2012年4月オランダ・ベルギー美術紀行9日間

日 程 表

- 1日目** 平成24年4月20日(金)
午後新幹線で出発→東京駅→成田へ [ホテル前泊]
- 2日目** 4月21日(土)
成田空港昼頃(ANA)ロンドン乗り継ぎ→アムステルダム着。専用バスにてホテルへ [アムステルダム泊]
- 3日目** 4月22日(日)
国立クレラー・ミュラー美術館、国立博物館、国立ゴッホ美術館・レンブラントの家など [アムステルダム泊]
- 4日目** 4月23日(月)
アムステルダム観光(跳ね橋、王宮外観、アンネの家等)「キューヘンホフ公園」見学。 [ハーグ泊]
- 5日目** 4月24日(火)
ハーグ市立美術館(テルフトの眺望、真珠の耳飾りの少女他)。テルフトで陶器工場見学。キンテルダイクの風車群(世界遺産)を見学。 [アントワープ泊]
- 6日目** 4月25日(水)
ノートルダム大聖堂(世界遺産)、マルクト広場見学後、ゲントの聖バーブ大聖堂へ。ブルージュに移動し、ムムリンク美術館、マルクト広場見学。 [ブルージュ泊]
- 7日目** 4月26日(木)
ブルージュ~ブリッセルへ。市内見学後、王立古典美術館、小便小僧、グランプラス(世界遺産)など見学後、タリス(高速鉄道)にてパリへ移動。 [パリ泊]
- 8日目** 4月27日(金)
夕方までフリータイム。ホテルからルーブル・オルセー・オランジュリー美術館は徒歩圏内。
夜(ANA・NH206)成田直行便にてパリ出発。 [機中泊]
- 9日目** 4月28日(土)
午後成田空港着→東京駅→新幹線で県内新幹線駅へ。
お疲れ様でした。めでたく解散!



「夜警」
レンブラント
アムステルダム国立博物館

2011年3月11日発生の東日本大震災の影響のため延期した第5回海外研修旅行を平成24年4月出発の日程で再募集致します。

「ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて」と題して巨匠の名画を堪能する「美術紀行」です。旅行日程は、平成24年4月20日から4月28日までの9日間です。詳細は別添のパンフレットをご覧ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

第1次募集締切：平成23年10月31日

募集人員 35名(最少催行人員20名)

ご旅行代金 393,000円

(燃油サーチャージは含みません。)

平成23年度国内研修旅行

青森県立美術館 開館5周年記念

「光を描く 印象派展」

— 美術館が解いた謎 —

「縫い物をするジャン・ルノワール」
ピエール・オーギュスト・ルノワール作



平成23年度友の会研修旅行をご案内致します。青森県立美術館開館5周年記念「光を描く印象派展—美術館が解いた謎—」(ドイツ・ヴァルラフ・リヒャルト美術館コレクションを中心に、日本国内の名品を加え、60点超の作品を展示)を鑑賞します。

皆様のご参加をお待ちしております。

- 研修先 青森県立美術館
- 日時 平成23年7月24日(日) 9:00~
- 募集人員 先着 40名
- 参加費用 3,500円(入館料、昼食費、交通費含む)
- 集合場所 七戸町南公民館、美術館ほか
- 募集締切 平成23年7月10日(日)(但し、定員になり次第締め切ります。申込はお早めに!)
- 詳細日程は、後日参加者にお知らせします。
- お申し込み・問い合わせ先：鷹山宇一記念美術館
- 電話 0176(62)5858